

Press release

2016年6月29日

美容教育施設「ASK Academy TOKYO」が天王洲にリニューアルオープン

ヘンケルジャパン株式会社 シュワルツコフ プロフェッショナル事業本部(本社:東京都品川区、社長:金井博之、サロン専用ヘア・コスメティックブランド)が運営する「ASK Academy(アスクアカデミー) TOKYO」は6月27日、汐留から天王洲へと拠点を移し、新たにデジタルルームを配した最新鋭の美容アカデミー施設としてリニューアルオープンしました。



(左から時計回りで) 受付、グラフィックが施された廊下とデジタルスタジオ、最大 200 人収容可能なセミナールーム、シャンプースタジオ、プラクティスルーム

「ASK Academy TOKYO」は2003年のオープン以来、美容師向け美容教育・情報の発信拠点として約12年間展開してきました。新生「ASK Academy TOKYO」は総面積678㎡を誇り、3つのセミナールームやスパスペース、撮影スタジオに加え、今回新たにデジタルルームを設置。デジタルルームでは撮影した写真や動画を編集し、ヘアスタイル作品集等をYouTube や SNS に即時アップできるなど、より時代に即した美容総合施設へと刷新し、業界のさらなる活性化を目指します。

ヘンケルジャパン社長の金井博之は「新たな ASK Academy TOKYO では“プロフェッショナル・パートナー”として、サロン様のビジネス発展、スタイリストの成長をサポートするためのセミナーやイベントを実施することで“勝ち続けるサロンづくり”を応援するとともに業界発展への貢献を目指します」と述べています。

<新 ASK Academy TOKYO>

〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-8 スフィアタワー天王洲 15F

<施設概要>

- ・総面積 678㎡
- ・最大収容人数200名でのイベントが可能
- ・3つのセミナールームでは20～72名までのトレーニングが可能
- ・ヘッドスパトレーニングができる癒しのスパスペースを完備
- ・プロ仕様のライティングセットを備えた撮影スタジオ
- ・新設したデジタルルームでは、撮影した写真や動画を編集し、サロンのイメージビジュアルやヘアスタイル作品集を YouTube や SNS に即時アップすることが可能
- ・LED 照明などを積極的に取り入れ、地球環境に配慮
- ・本社・東日本オフィスと隣接することにより、お客様へのサービスレベルを向上

ヘンケルについて

ヘンケルはブランドとテクノロジーのグローバルリーダーとして、ランドリー & ホームケア、ビューティーケア、アドヒーズブテクノロジー（接着技術）の3つの分野で事業展開をしています。ヘンケルは1876年の創立以来、コンシューマービジネスおよび産業分野において、Persil（パーシル）、Schwarzkopf（シュワルツコフ）、Loctite（ロックタイト）などに代表される有名なブランドの数々と共に、グローバルにおけるマーケットリーダーとしての地位を維持しています。ヘンケルの従業員数は約50,000人であり、2015年の売上高は181億ユーロ、調整後の営業利益は29億ユーロを計上しました。ヘンケルの優先株はドイツ株式指数DAXのリストに入っております。

ヘンケルジャパンホームページ: <http://www.henkel.co.jp>

ヘンケルジャパンフェイスブックページ: <http://www.facebook.com/HenkelJapan>

シュワルツコフプロフェッショナルについて

1903年に薬剤師のハンス・シュワルツコフが、ドイツで初めてのパウダーシャンプーを発売して以来、100年以上の歴史を持つヘア・コスメティックブランド。120カ国以上の美容室で評価され、数多くのトップヘアスタイリストに愛用されています。

— 本件に関するお問合せ先 —

ヘンケルジャパン株式会社 広報室 黒木 健

TEL: 080-4859-0988 e-mail: takeshi.kuroki@henkel.com